

地域おこし協力隊 活動報告

高萩市を元気にするため、6名の地域おこし協力隊員が市内外で活躍中です。それぞれの隊員が平成30年度に行った活動内容をご紹介します。

きたもとつよし

北本 剛 隊員

地域の名産である「花貫フルーツほおずき」の生産、販売、PRと地元の直売所「花貫物産センター」の支援等を行いました。早いもので7月末に3年間の任期を終えることとなります。地域おこし協力隊として、地域の方々の力になれているかわかりませんが、少しでも地域のお役に立てればと活動を続けてきました。退任後も、大能地区を中心に「花貫フルーツほおずき」の生産や販売活動を支援する傍ら、農業や新しい事業を開始し、「地域おこし協力隊」の延長線にあるような活動を続けたいと思います。



ささかわ ゆうや

笹川 雄也 隊員

昨年より休耕地を再耕し独自に食用ほおずきを生産するとともに、高萩市や食用ほおずきを知っていただくために様々な活動を行いました。県内外のセミナーやシンポジウムでゲストとして登壇、NHK等のメディアへ出演、また、市内においてもイベントや学校行事等で講話をさせていただき、自らマーケット等のイベントも開催しました。7月末で退任となりますが、残りの活動期間も、精一杯高萩市に貢献できるよう努めます。最後に、この場をお借りして日頃よりお力添え下さる皆様に感謝申し上げます。



ささかわ みな

笹川 美奈 隊員

食用ほおずきはもちろん、高萩市をより多くの方に認知していただくため、多数のメディアを使った宣伝や、首都圏のイベントにおいてトークをさせていただきました。また、教育機関でこれまでの経験と活動を踏まえた講話をさせていただきなど、継続して情報発信することで外部との繋がりも強化されてきました。生産している食用ほおずきや地場産品を使用した加工品の開発販売も行い、販路も拡げつつあります。今後はより一層活動の幅を広げ、先を見据えて成果を出せるよう努めていきます。



おおた まさし

太田 将史 隊員

高萩市への移住を推進するため、首都圏で行われる移住イベントに参加したり、高萩の魅力を感じられるようなイベントを市内で開催しました。自然の中で市内外の親子の方々とドラム缶風呂を体験して夜には蛍の鑑賞会をしたり、穂積家住宅で市内外の方と一緒にクラフトを中心としたマーケットを開催したりと、高萩への移住検討者や市内在住者も含め、訪れた方が楽しんでもらえるようなイベントを企画しました。3月末で退任となりますが、今後も高萩とのつながりを大切にしていきたいです。



むかでまなぶ

百足 学 隊員

高萩市が「アウトドアのまち」になることを目指して活動しています。海、山、渓谷があり、アウトドアを行うにはとても魅力のある地域だと確信しています。花貫渓谷では、清流を歩いて冒険する「シャワーウォーク」ができます。土岳は、初心者でも気軽に山頂まで登れます。昨年冬には土岳で登山イベントを行い、山頂で高萩産の食材を使った豚汁を食べるなど、参加者に高萩を堪能してもらいました。今後も、高萩のフィールドでより多くの方にアウトドア体験を提供するため、活動していきます。



はしもと かおり

橋本 佳織 隊員

高萩の自然豊かで魅力的なフィールドでアウトドアを行えるよう、渓谷や川などを調査しています。豊かな自然が「ありのまま」の姿で残っている場所を見た時、その迫力と美しさにとっても感動し、高萩には大きな可能性が秘めているなど実感しました。また、調査と並行して、高萩のフィールドをより安全にご案内出来るようにするため、研修を受け、インストラクター業を学んでいます。今後も引き続き高萩のフィールドを調査し、アウトドアの魅力を発信するため活動していきたいです。

